

《保護者アンケート結果より》

今年度、保護者のみなさまには、10項目についてアンケートを実施させていただきました。コロナ禍で制限された中での教育活動となり、保護者の皆様には大変ご心配をおかけした1年となりました。しかしながら、皆様の励ましの声に支えられながら日々の教育活動に勤しんで参りました。今年度は、参観等も実施できず、お子さまの学習や生活の様子がおわかりになりにくい状況にもかかわらず、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。

昨年度に比べ、全体的に多くの項目で肯定的な回答が下回る結果となりました。

まず、「①学校教育目標や教育の取り組みの様子がわかりやすく伝えられている。」、「⑨運動会や音楽会で子どもたちはいきいきと取り組んでいるか。」の項目においては、①が昨年度より13%程度、⑨が9%程度下回る結果となりました。コロナ感染症防止の観点から、予定されていた多くの行事や、学年での取り組みが実施できなかつたり、参観等で子どもたちの様子を実際に見ていただく機会もなかつたりという残念な状況となりました。しかしながら、日々の教育活動において子どもたちの様子を伝えていくことや、工夫ある教育活動をしていくことが大切であると考えます。保護者の皆様の安心にもつながるよう、よりよい情報の発信や工夫ができるよう努めて参ります。

次に、「③授業がわかりやすいと話している。」については、肯定的な回答が10%程度昨年度より下回る結果となりました。ここ数年本校では、ペアやグループで話し合ったり、考えを深めたりする「学び合い」を進めてきました。そのため、様々な場面において友だちと考えを聴き合ったり、伝えたりする習慣が少しずつ定着してきました。しかしながら、音楽科では一斉に歌唱指導ができなかつたり、理科では友達と距離を開けたままで実験をしたりする等、これまで当たり前できていた頭をつきあわせて課題に取り組んだりする活動や、面と向かって意見を言い合ったりする活動が制限されたこともあり、同じ方向を向いた一斉授業が多くなってしまったことは否めません。今後同じような状況下となっても、タブレット等のICTを活用するなどして、常に授業改善をしながら、子どもたちがわかりやすいと思える授業づくりに取り組んで参ります

「④お子さんの規範意識は、身に付いている。」「⑤お子さんは、命や人権を尊重する態度が身に付いてきた。」については、いずれもここ数年、高い傾向を維持しています。家庭でも、ルールを守り、命や人権、いじめなどの問題について話していただいている成果だと思えます。今後も引き続きあらゆる場面において指導して参ります。

「⑥お子さんは、危険予測・回避能力が身に付いてきた。」では、今年度は、89%になりました。自ら身を守る力をつけるため、不審者や道路の横断について気をつけるよう学校でも指導を続けています。ご家庭におかれましても折を見てお声かけいただきますようよろしくお願いたします。青山学区の目指す子どもでもある「主体的に考え、判断できる青山っ子」の育成をめざし、今後も指導をして参ります。

いただきましたご意見につきましては、全教職員が受け止め、丁寧に対応していきます。